

防災にかける決意新たに

八幡平市消防出初め式

「平成24年八幡平市消防出初め式」は1月3日、市役所周辺で開かれました。

当日は、市消防団（高橋守男団長）の団員450人と市婦人消防協力隊（津志田レ子隊長）の隊員120人、車両40台が参加。堂々とした分列行進を行い、地域防災への誓いを新たにしました。

統監の田村正彦市長は「昨年の大災害で地域消防の大切さが見直されている。一致団結して防災活動に当たってほしい」と式辞を述べ、団員らを観閲しました。



堂々とした分列行進を披露する市消防団員



降りしきる雪の中、テープカットでスキー場の安全を祈る関係者

シーズンの安全を願って

田山スキー場スキー場開き

田山スキー場のスキー場開きは昨年12月23日、同スキー場で行われ、今季の営業を開始しました。

スキー場開きには、田村正彦市長や市、スキー場関係者、田山スポーツ少年団の団員ら約50人が出席。神事に続き、テープカットが行われシーズン中の安全を祈りました。

田村正彦市長は「今シーズンもインカレをはじめたくさんの大会が行われる。無事故で全国の選手を歓迎したい」とあいさつしました。

国際親善相撲大会で活躍

津志田亜睦君が白鵬杯相撲大会で3位入賞

横綱白鵬による少年相撲大会「白鵬杯」は昨年12月18日、大阪府堺市で開かれ、津志田亜睦君（寺田小）が6年生の個人戦で3位に入りました。

同大会は、国内のほか韓国やモンゴルなど、3カ国約600人の選手が出場した国際親善交流大会。津志田君は参加103人のトーナメントを勝ち進みました。

昨年12月22日に市役所を訪れた津志田君は「小学校最後の大会で入賞できた。これからも相撲を頑張りたい。目標は全国優勝」と決意を述べました。



田村正彦市長に3位入賞を報告した津志田亜睦君(写真右)



「円滑なスキー大会競技運営のために」(昨年12月15日、市と陸上自衛隊岩手駐屯地が協力協定を締結)



「患者の回復祈り大更民謡研究会踊り披露」(昨年12月21日、西根病院クリスマス会)



「ピアノとフルートの調べを堪能」(昨年12月22日、奇木保育所クリスマスコンサート)

※広報はちまんたい1月19日号(No.143)の印刷経費は1部15,225円(税込み)です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、市役所総務課広報統計係(☎・内線1218)まで。

